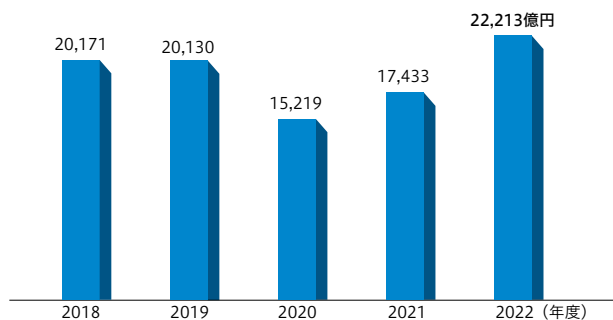


財務・非財務ハイライト

売上高(営業収益)
[連結]

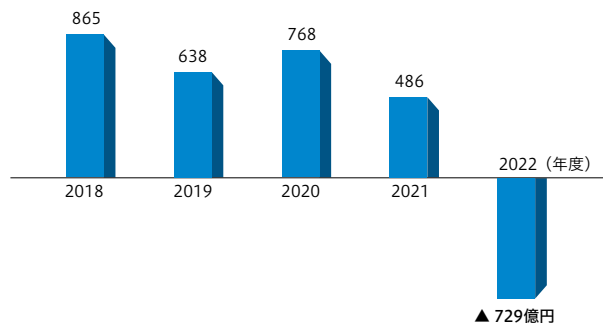
22,213億円
(2022年度)



(注)「収益認識に関する会計基準」等及び改正「電気事業会計規則」を2021年度期首から適用しており、2020年度については、当該会計基準等を訴求した後の数値を記載しています。

営業損益
[連結]

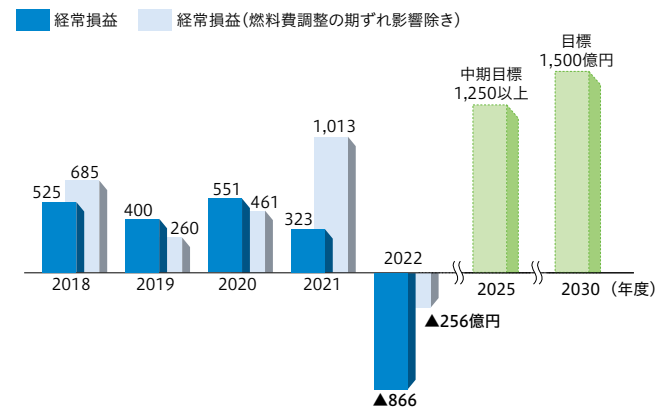
▲729億円
(2022年度)



(注)「収益認識に関する会計基準」等及び改正「電気事業会計規則」を2021年度期首から適用しており、2020年度については、当該会計基準等を訴求した後の数値を記載しています。

経常損益
[連結]

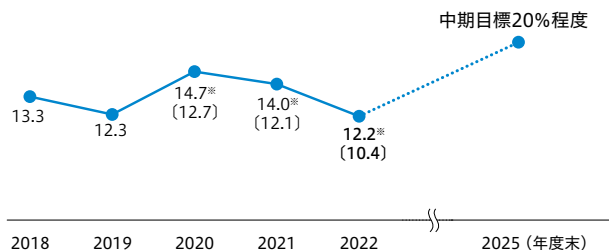
▲866億円
(2022年度)



(注)「収益認識に関する会計基準」等及び改正「電気事業会計規則」を2021年度期首から適用しており、2020年度については、当該会計基準等を訴求した後の数値を記載しています。

自己資本比率
[連結]

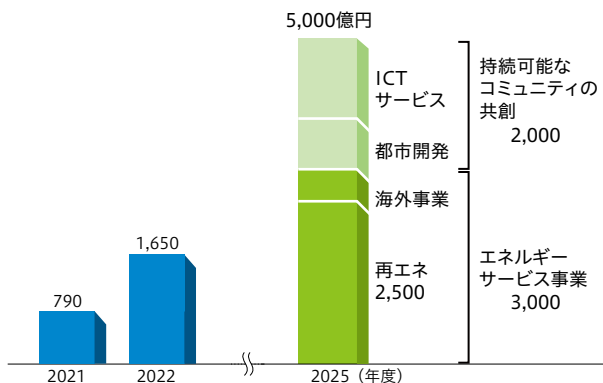
12.2%
(2022年度末)



※:ハイブリッド社債(2020年10月発行)の資本性認定分(約2%)を含む
()内はハイブリッド社債の資本性認定分を含まない

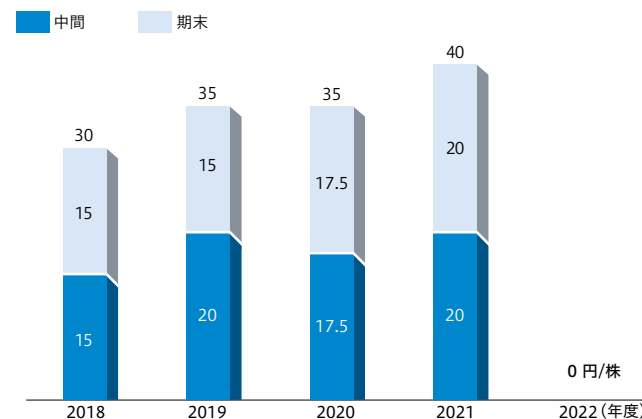
成長投資(累計)
[連結]

約1,650億円
(2021~2022年度)



配当金(普通株式)
[九州電力]

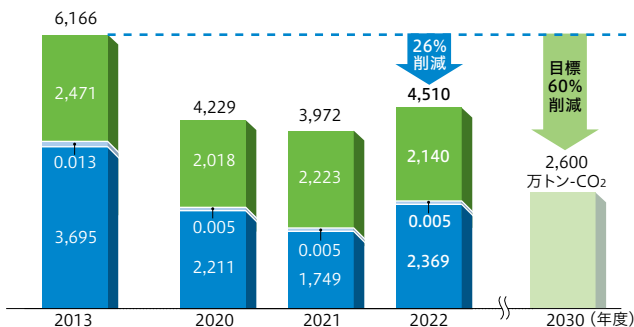
0円/株
(2022年度)



サプライチェーンGHG
排出削減率*1 (Scope1~3)
[九電グループ*2]

26%
(2022年度)

Scope1 Scope2 Scope3

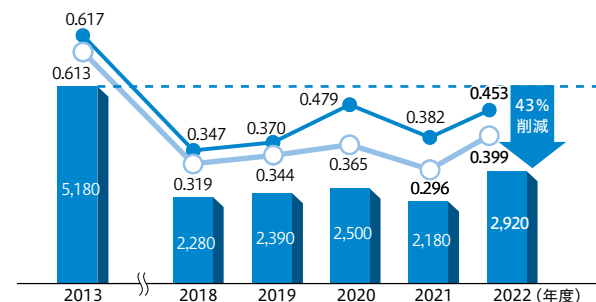


*1:2013年度比
*2:九州電力及び連結子会社(排出量が僅少な企業を除く)について算定

販売電力量あたりの
CO₂排出量
[九州電力]

0.453 (調整後排出係数)
kg-CO₂/kWh
0.399 (基礎排出係数)
kg-CO₂/kWh (2022年度)

CO₂排出量(基礎排出量、万吨-CO₂)
販売電力量あたりのCO₂排出量(調整後排出係数、kg-CO₂/kWh)
販売電力量あたりのCO₂排出量(基礎排出係数、kg-CO₂/kWh)

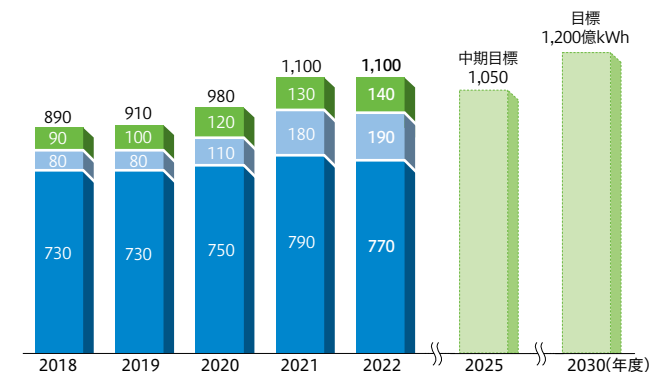


(注)調整後の値は、CO₂排出クレジット、再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT)に伴う調整等を反映(2022年度実績は暫定値。確定値は12月頃国から公表予定)

総販売電力量(小売、卸売、海外)
[九電グループ]

約1,100億kWh
(2022年度)

小売 卸売 海外

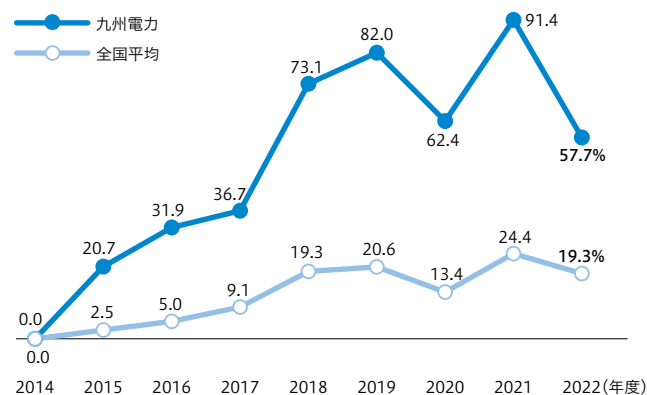


(注1)小売販売電力量について、九州電力及び連結子会社(九州電力送配電、九電みらいエナジー)を含んだ販売電力量を記載
(注2)四捨五入の関係で、内訳と合計が合わないことがある

原子力発電所設備利用率
[九州電力]

57.7%
(2022年度)

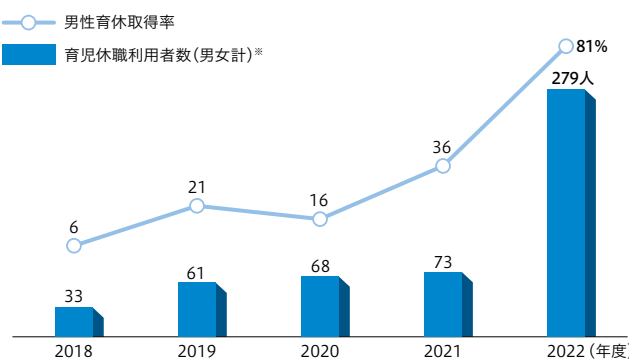
九州電力
全国平均



男性育休取得率
[九州電力及び九州電力送配電]

81%
(2022年度)

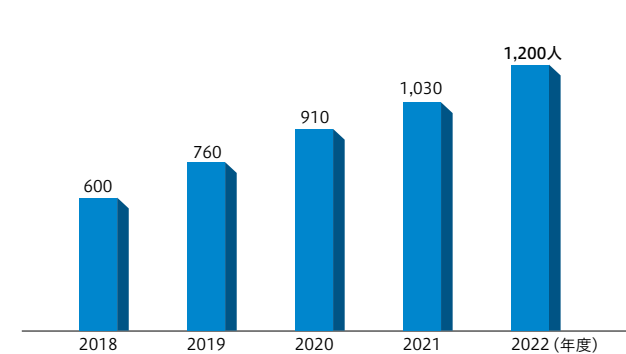
男性育休取得率
育児休業利用者数(男女計)*



(注)適用期間:子の満2歳到達後の4月末まで
*:「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律施行規則(平成3年労働省令第25号)」の規定に基づき、配偶者が出産した男性労働者のうち、育児休業等を取得したものの割合を算定。2022年度からは、配偶者出産休暇制度を廃止し、育児休業を一部有給化。

KYUDEN i-PROJECT*
参加者数(延べ)
[九電グループ]

1,200人
(2018~2022年度)



*:九電グループ全体のイノベーションを推進し、新たな事業やサービスを生み出すためのプロジェクト